

共に未来を創っていこう！！

校長 松本 雅史

1～5年生にとって、いよいよ今日で今の学年、学級が最後になります。6年生は、明日が卒業式です。今年は、皆さんにとってどんな1年でしたか。

5月には、運動会を元気一杯、行うことができました。玉入れやダンス、綱引き、よさこい、いかだ流し、組体操と、思いっきり体を動かして、応援も声の限りに頑張って、運動会を楽しみました。

そして、3学期には展覧会を開催しました。一人一人の思いや創造力が溢れる素晴らしい展覧会になりました。こども学芸員の取組もよかったですね。

本年度は、低学年は生活科で、地域の自然の素晴らしさをたくさん感じたり、様々な人やお店などとたくさん関わったりして、花小金井の素敵とたくさん出会い、みんなに紹介する学習をしました。

3年生以上のみんなは、食品ロスや、ゴミ問題、SDGsや生物多様性の喪失、動物の殺処分、地球温暖化などの問題について学び、シロクマを救おうなど、自分にできるところから行動し頑張りました。自主的にフードパントリーを行ったり、ペットボトルキャップを集めたり、段ボールコンポストをやったり、地域とこどもたちをつなぐ遊びの広場をしたりするグループもありました。いなげやや夢庵、来来亭、ミスタードーナッツには、フードロス削減を呼びかけるポップなどを置いていただきました。私も5年生や6年生とユニセフ募金を呼びかけたり、4年生と玉川上水までゴミ拾いに行ったりしました。

皆さんは、問題について知れば知るほど、次々と行動を起こしていききました。先日、校長先生が読んだ本に、「様々なSDGsの取組があるが、こんなことしたって、地球の温暖化は止まらない、無駄なだけだ」と書いてありました。みんなはどう思いますか。一つ言えることは、たくさんの行動を展開した皆さんから、諦めるような言葉は遂に校長先生

は一度も聞きませんでした。みんなは、喜々として元気いっぱいにごみ拾いの活動をしました。食品ロスを止める活動をしました。私は、このみなさんの姿の中に「ここに明るい未来がある」と心から思いました。

確かに、一生懸命ごみを拾ったところで、また次の日にはごみが落ちているというのが現実かもしれません。でも、ごみを拾う人が、この小平第五小学校756人から、1000人、1万人、1億人と大きく広がっていったら、少しは地球が変わると思いませんか。未来が明るくなると思いませんか。明るい未来は、誰かにつくってもらうものではありません。みんなで作るのです。

今、日本も地球もとんでもないことになりそうで、心配でなりません。ちょうど1年前、お米の値段は2kgで1800円だったんですよ。それが、今は4000円です。こんなの誰が予想したのでしょうか。来年の今頃には、何がどうなっているか、その次の年にはどうなっているか、全く予想がつきません。

ただ、10年後、15年後のこどもたちから、

「何であの時、だまっていたの？」

「何であの時、何もしなかったの？」

「あの時、もっとできたことがあったんじゃないの？」

と、言われないように、今ならまだ間に合うと、みんなで力を合わせて、学び、行動し、そうして更に学んでいきたいと思います。

今日で、今の学年も学級も終わりになります。でも、私たちは、一人残らず未来を創り救っていく仲間です。これからも学年クラス関係なく、仲良く、楽しく、励まし合ってすすんでいきましょう。

春休みに、しっかり次の準備をして、元気一杯に新しい令和7年度をスタートしていきましょう。

来年度は、さっそく5月に運動会を行います。校長先生は隣の八小にいきますが、運動会には皆さんの応援に駆け付けます。どうぞ、張り切ってがんばってください。

風邪をひかないように、交通事故に気をつけて過ごしましょう。